

## 「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」の改善見直し(案)の概要

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」は、徳島県の進むべき方向と目標を示し、重点的に取り組むべき方策を明らかにした、平成19年度から平成22年度までの4年間の県政推進の指針となるものです。

県では、計画の基本理念である「オンリーワン徳島」の実現に向けて、7つの基本目標とこれを達成するために計画に盛り込んだ各種の施策・事業の着実な推進に全力で取り組んでいるところです。

この計画の進行管理にあたり、計画をより実効性のあるものとするため、「**進化する行動計画**」として、社会経済情勢等の変化や新たな県民ニーズに即応して、毎年度必要な改善見直しを行うこととしており、今回、平成21年度に向けた改善見直し(案)をとりまとめました。

### (1) 主な追加事業等

#### 1 「オープンとくしま」の実現

県民が求める情報等を積極的かつきめ細やかに提供するため、県ホームページのリニューアルを実施

公平・公正な職務執行の確保を図るため、「監察組織」の設置や「コンプライアンス基本方針」の策定等の体制を整備

住民団体や企業等との協働によるアドプトプログラムの取り組みを推進する「アドプト参加団体数」の数値目標を増

地方分権をリードし、関西における広域行政をさらに推進する「関西広域連合(仮称)」設立準備を推進

地域の課題解決につながる政策提言を行う「とくしま政策研究センター」(徳島県立総合大学校)において、「地域支援センター」などと連携した調査研究を実施

#### 2 「経済飛躍とくしま」の実現

本県経済を下支えし、経済飛躍への芽を育むため、事業者の支援態勢の強化及び雇用効果の高い実需の喚起を推進

雇用情勢が下降局面にある中で、新たな雇用の場を創出するとともに、就職へのスキルアップ支援等を強化

本県の強みを活かした産業振興を加速させるため、本県ゆかりの人材のUターンを積極的に受け入れる「ふるさと回帰プロジェクト」を構築

中小企業に対する一元的かつ総合的な支援を行うため、経済団体等と連携し、「中小企業の総合的な応援拠点」の整備を推進

本県農林水産業の持続的な発展や農山漁村の活性化を図る「徳島県農林水産基本計画」を策定

首都圏で活躍する本県ゆかりの企業経営者等による「徳島経済会議 in 東京」を開催

県のイメージアップ・県外客の集客力増大を図るため、中心市街地活性化に寄与するモデル的な集客イベントを開催

科学技術振興を総合的に推進する「科学技術連携システム」の運用により柔軟かつ計画的な科学技術振興施策を推進

持続的で地球環境にやさしい畜産の導入を推進するため、畜産経営の改善に新たにチャレンジするモデル的な取り組みを支援

建設業の資金調達の円滑化を図るとともに、適正な下請契約締結や代金支払の指導及び下請セーフティネットの構築を推進

「LEDバレイ構想」の実現を図るため、新規参入事業者の拡大、集積企業への支援強化、販路拡大等を図るとともに、「LED王国・徳島」のブランド化を促進

「新鮮とくしまブランド」による新商品開発に農林畜水産物とものづくり技術等を連携させ、「農商工連携」による新商品開発などを促進

産学官連携による「次世代エネルギー活用促進研究会」を設置し、幅広い活用が期待される「リチウムイオン電池」を活用した県内での応用製品開発を促進

若年者、Uターン等希望者、中高年齢者の就業を総合的に支援するため、「徳島県若年者就職サポートセンター」と「徳島県就労支援プラザ」を統合した「とくしまジョブステーション」を設置

林業の新規就業希望者への就労支援である「緑の研修生の定着数」の数値目標を増生産基盤である農地の有効活用を促進するため、農業上重要な地域を中心に耕作放棄地対策を推進

住宅部材を生産する中小の製材工場等の連携により、競争力の高い産地づくりを支援するため、「中核木材産業地域連携構想」を策定

### 3 「環境首都とくしま」の実現

総合的・計画的に地球温暖化対策を進めるため、徳島県地球温暖化対策推進条例に定められた推進計画を策定

自動車から公共交通機関や自転車などへの転換を図る「地球にやさしい交通システム」の実現に向けたモデル的な取り組みを産学民官が協働して実施

カーボン・オフセットの推進に向け、産学民官の協働によりモデルづくりや枠組みづくりを推進

面的広がりを持った新エネルギー・省エネルギー対策を促進するため、地域における設備導入に向けた取り組みを推進

自然エネルギー活用の大切さを啓発するため、川口発電所等の企業局施設に、太陽光発電設備、啓発用小型風力発電設備などの啓発設備を整備

環境への負荷の少ない「持続性の高い農業生産方式」の導入を推進する「エコファーマー認定数」の数値目標を増

鳥獣被害対策を総合的に進める「集落等で取り組んだ防止施設等の整備件数」の数値目標を増

県民協働による森づくり活動を進めるため、企業等によるカーボン・オフセットに基づく森林整備を推進

#### 4 「安全・安心とくしま」の実現

危機事象対応への人材の有効活用、権限と責任がより明確な執行体制の構築、国の消費者庁設置を見据えた組織体制の強化等を図るため、危機管理局を危機管理部へ改組

河川施設の老朽化に備え、必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため、「河川施設の長寿命化計画」を策定

災害時に孤立化が予想される集落・地域の外部との通信手段を確保するため、簡易無線機・衛星携帯電話など通信機器等の共同購入補助、県・市町村・住民による通信訓練を推進

津波避難困難地域を解消するため、避難路に面した倒壊の危険性がある空き家やブロック塀等の除去を促進

災害時において防災拠点等となる「市町村立小中学校施設」の耐震化を促進

異常気象時の中山間地域の救命救急活動等を支援する「生命線道路の強化率」の数値目標を増

食に対する県民の不安・不信を解消するため、積極的な情報提供、適正表示推進体制の強化などについて「食の安全安心推進条例」を改正

食品の産地偽装等の問題が相次ぐ中、商品選択に役立つ知識を消費者が学ぶため、食品表示に関する研修会を開催

医師等を速やかに現場に派遣する体制を構築するため、和歌山県とのドクターヘリによる相互応援体制を整備

地域医療を担う医師等の養成・確保を図るため、救急勤務医・産科医の勤務環境改善等を推進

将来的な血液の安定供給のため、献血モバイル会員登録など、若年層を対象に献血の啓発を推進

消費者問題の複雑・多様化、消費者庁創設への動きの中、「消費者基本条例」を改正し、徳島県にふさわしい、親しまれ、信頼される消費者行政を推進

消費者情報センターにおける相談者の利便性向上のための相談体制の強化、複雑・多様化する事案等への対応のための専門相談の強化を推進

健康づくりの両輪である「食生活」と「運動」の両面から効果的・効率的な健康づくりを推進

新型インフルエンザ対策として、感染拡大を可能な限り阻止し、県民の健康被害を最小限にとどめるための体制を整備

身近な犯罪の防止対策として、振り込め詐欺の撲滅に向けた取り組みを推進

## 5 「「まなびや、とくしま」の実現

平成23年度より完全実施される小学校外国語活動の円滑な導入に向けた取り組みを進めるため、小学校外国語活動助手を市町村教育委員会へ派遣

児童生徒の実態や学校の実情に即した教育を展開するため、退職教員や社会人等を小・中学校、高等学校へ非常勤講師として配置

子どもの運動習慣や規則正しい生活習慣の定着を図るとともに、体力向上支援プランの策定など、子どもの体力向上に向けた取り組みを推進

「徳島県幼児教育振興アクションプラン」を推進するとともに、幼稚園・家庭・地域・行政等が連携した総合的な幼児教育を展開

災害発生時における児童生徒等の安全を確保するため、防災教育を推進するモデル校の指定について、目標年次を平成21年度に前倒し

県立防災センターが主体となって、「小中学校まなぼうさい教室」の開催や、大学・民間企業等と連携した教材開発、教員を「防災教育推進パートナー」として登録するなど、小中学校における防災教育を総合的に支援

中学生・高校生の社会的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、中学校における職場体験の実施を推進

官民協働による男女の出逢いの場づくりを支援する「『出逢いきらめきセンター』会員団体登録数」の数値目標を増

大型の保育用遊具等を「子育て総合支援センター」に備え、子育て支援団体等へ貸し出すことにより、地域における子育て支援活動を支援

不妊治療の経済的負担を軽減する「不妊治療費助成件数」の数値目標を増

## 6 「「みんなが、とくしま」の実現

「こども」と「女性」に関わる様々な問題にワンストップで対応できる体制整備のため、「中央児童相談所」と「女性支援センター」の機能を統合し、新たに「徳島県こども女性相談センター」を設置

男女共同参画を積極的に推進し、専門家や起業家などの人材育成を図る「『フレアとくしま100講座』参加者数」の数値目標を増

農業経営における個人の地位及び役割を明確にするため、「家族経営協定締結数」の数値目標を増

障害の種別にかかわらずサービス提供体制を充実する「指定サービス提供事業所の指定件数」の数値目標を増

認知症について理解し、地域全体で認知症高齢者を支えていく「認知症サポーター数」の数値目標を増

障害者や妊産婦等の歩行困難者に配慮した環境づくりを推進するため、「パーキングパーミット（身体障害者等用駐車場利用証）」の交付を開始

四国4県が連携して、グリーン・ツーリズムをPRすることにより、高速道路新料金を活用した徳島の農山村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを推進

## 7 「にぎわい、とくしま」の実現

本四道路を活用した地域の活性化を図るため、さらなる割引制度の拡充や恒久的な料金引き下げを要望するなど、利用しやすい通行料金の実現を推進

高速道路新料金を最大限活用するため、「高速道路新料金活用戦略」に基づき、「大鳴門橋の通行台数」「県外からの観光入り込み客数」の倍増を目指し、「県外からの観光誘客対策」及び「物流活性化による産業振興対策」を推進

関係県が一丸となって本四道路の利用促進に取り組むため、四国4県で本四道路の利用促進策を取りまとめるとともに、関係県及び関係機関による「本四道路利用促進会議」を開催

近畿圏における本四道路の料金割引制度の情報発信や、兵庫県との共同イベントなど、本四道路や徳島自動車道の利用を促進

県外からの観光入り込み客数の倍増を挑戦目標として、マイカー利用の県外観光客に対する新たな観光周遊ルートや宿泊滞在型観光プランを提案し、観光誘客対策を推進

「徳島空港新時代」の広域交通ネットワークの形成に向けた「徳島空港新旅客ビル」の整備・供用

高規格幹線道路の整備に向けた「徳島小松島港津田地区整備事業（土地造成）」の推進

県、市町村、観光事業者、県民等が一丸となった観光振興の取り組みを推進するため、「徳島県観光振興条例（仮称）」を制定

県西部圏域の観光客の来訪滞在を促進するため、官民一体となった「にし阿波観光圏」のPRや観光案内の向上などの取り組みを推進

東京における全国初となるコンビニエンスストアとのコラボレーションによる県産品の販売など、アンテナショップを活用して本県の魅力と知名度を向上

にぎわいを創出するため、「消費者問題国民会議2009徳島大会」「第10回川での福祉と教育の全国大会in徳島」を誘致・開催

「e-とくしま推進プラン」を推進する『(財)e-とくしま推進財団』を活用した産学官地域連携事業数の数値目標を増

「地域ICT未来フェスタ」により醸成された産学官連携・協働の取り組みを将来につなげ、県民のさらなるICT利活用を促進するため、「とくしま地域ICT未来プロジェクト」を推進

平成21年10月3日から11月3日を「阿波人形浄瑠璃月間」と位置付け、古典作品や新たな取り組みを織り交ぜたジョールリを県内各地で集中的に開催

本県の魅力や県民挙げての「おもてなしの心」を全国に情報発信できる「とくしまマラソン」を平成21年度に開催

本県出身選手が全国大会や国際大会で活躍ができるよう、優れた素質を持つジュニア選手の一貫指導システムの構築とトップ指導者の養成を推進

スポーツを活用した健康づくりを推進するため、健康づくり実践プログラムを作成し、モデル事業を実施

## ( 2 ) 改善見直し件数

基本目標	現 行 主要事業数 (数値目標数) a	今回改善見直し(案)			見直し後 主要事業数 (数値目標数) a + b
		追 加 主要事業数 (数値目標数) b	修 正 主要事業数 (数値目標数)	見直し合計 主要事業数 (数値目標数)	
「オープンとくしま」 の実現	58 (50)	3 (2)	4 (3)	7 (5)	61 (52)
「経済飛躍とくしま」 の実現	79 (86)	9 (14)	15 (11)	24 (25)	88 (100)
「環境首都とくしま」 の実現	75 (81)	5 (4)	2 (6)	7 (10)	80 (85)
「安全・安心とくしま」 の実現	96 (109)	9 (11)	5 (8)	14 (19)	105 (120)
「“まなびや” とく しま」の実現	73 (65)	6 (8)	3 (8)	9 (16)	79 (73)
「“みんなが” とく しま」の実現	65 (65)	2 (1)	2 (5)	4 (6)	67 (66)
「“にぎわい” とく しま」の実現	81 (85)	9 (13)	8 (10)	17 (23)	90 (98)
合 計	527 (541)	43 (53)	39 (51)	82 (104)	570 (594)

事業名、施設名の名称変更等の修正は、件数に含めていません。